

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		030206 応急物資備蓄・保守事業		担当部課	部課コード	030200	2998-9399
事業コード		030206		危機管理課			
開始年度		平成 7 年度		終了年度	年度		
グループ		危機管理・防災グループ					
事業の概要	事業の種類	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加			根拠法令		
	分野別計画・指針	所沢市地域防災計画			災害対策基本法		
	関連・類似事業						
	総合計画の体系	章 安心・安全	節 危機管理・防災	基本方針	災害応急対策の充実		
事業開始の背景	平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機に大規模災害に備え、各指定避難場所に食料、毛布、簡易トイレ等の備蓄を開始した。また、国の「防災基本計画」においても、「地方公共団体は、大規模な地震が発生した場合の被害を想定し、必要とされる食料その他の物資についてあらかじめ備蓄・調達体制を整備し、それらの供給のための計画を定めておくものとする。」としている。						
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)						
	大規模災害に備えて、応急物資等を常時備蓄することにより、災害応急体制の充実を図る。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	119,070	食	
	避難者用備蓄食料及び災害対策用資機材			平成 27 年度	131,160	食	
事業の具体的な内容及び実施方法							
市内62箇所の防災備蓄倉庫、東部防災倉庫および西部防災倉庫等に、食料、毛布、簡易トイレ、カセットコンロ・ボンベ、車椅子、担架、投光機などを分散して備蓄する。賞味期間が設定されている備蓄食料の有効利用のため、期限到来の近いものから順次、防災訓練や出前講座等で使用する。災害時に直ちに活用できるように、浄水機(年1回)や投光機(年3回)、カセットガス発電機(2年に1回)点検を行う。平成8年度に購入した防災備蓄倉庫の老朽化も目立ち、防災備蓄倉庫の買替を実施する。							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)	
	予算現額			55,842	86,947	30,319	
	決算(見込み含む)			49,897	85,046		
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	正規職員人件費	0.74 人	6,454	0.86 人	7,448		
	事業費合計			56,351	92,494		
財源内訳	一般財源			56,351	92,494	30,319	
国・県支出金							
その他()							
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	備蓄食料	年度末備蓄食料	食	119,070	131,160	137,280	130,000食
	購入食料	単年度購入食料	食	26,880	26,800	34,300	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	年度末備蓄食料数	食	目標値	130,000	130,000	130,000
				実績	119,070	131,160	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	92	101	どちらかをチェックしてください
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析			
	平成28年度に設置した防災備蓄倉庫の老朽化が進んだため16台の防災備蓄倉庫を更新したほか、新たに3台増設した。						
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	市内では、帰宅困難者が23,000～27,000人出ると想定していることから帰宅困難者の備蓄食料を充実するため。		
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	防災備蓄倉庫の年間更新予定基数は減少するが、帰宅困難者の備蓄食料を充実するため。		
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性			
	費用削減効果を狙い、カセットガス発電機の点検を2年に1度とした。			備蓄品の使用期限による買い替えや常時13万食を維持するため、賞味期限を迎えた食料品の買い替えを実施していく。			
評価日	H28.8.19		評価者職氏名	危機管理担当 須田春男			
環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	備蓄品梱包材量の排出	規制を受ける環境法令等	無	
					緊急事態	無	